令和８年第４回黒部市議会６月定例会

提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人）通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 木島信秋	**1　市長の市政運営に対する基本姿勢と主要施策について**	
		(1)　市長は、就任会見の中で「リスペクトをもって市民と向き合う」との想いを語られた。この言葉に込められた市長の具体的な決意と、今後の「対話による市政運営」の在り方について伺う。	市長
		(2)　市長は、所信表明等において「一丁目一番地は子育て支援」と述べられているが、その具体的な支援内容を伺う。また、公約である「中学生及び保育所の給食費無償化」について、次の2点を伺う。 ①実施に当たる全体予算の試算について ②必要な財源の確保策について	市長
		(3)　市の重大な課題である「市民病院の経営・体制維持」及び「地域公共交通の維持・活性化」について、次のとおり市長の考えを伺う。 ①市民病院の経営健全化と診療体制維持に向けた基本方針について ②富山地方鉄道本線、及びあいの風とやま鉄道(黒部駅・生地駅)の課題に対する具体的な対策案と今後のロードマップについて	市長
		(4)　現在、欠員状態が続いている副市長の人事について、どのような人材を求めるのかという登用方針、並びに議会への具体的な提案時期について、市長の見解を伺う。	市長
		2　中東情勢が市民生活及び黒部市経済に与える影響について	
		(1)　昨今の中東情勢緊迫化に伴う原油・エネルギー価格の変動が、本市の産業や市民生活に与える影響について、市長の現状認識を伺う。	市長
		(2)　市内の製造業、建設業、農林水産業、運輸業などの各セクターにおけるコスト負担や経営への影響について、市がどのように実態を把握しているのか伺う。	市長
		(3)　市が管理する公共施設の電気料金や燃料費への影響について、今後の増額をどの程度見込んでいるのか。また、それが本市の財政運営に与える影響について伺う。	市長
		(4)　エネルギー価格や物価高騰による市民生活への負担軽減策として、今後どのような支援策を検討しているのか伺う。	市長
		(5)　今後の更なる情勢悪化に備え、国や県と連携した経済対策や、市内中小企業・事業者に向けた支援策についての考え方を伺う。	市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 木島信秋	**３　黒部市内小学校の統合計画について**	
		(1)　小学校の統合検討に当たり、教育環境の向上や学校規模の適正化について、市がどのような基準や指標を設けているのか伺う。	教育部長
		(2)　現在の児童数推計を踏まえ、市教育委員会が将来的にどの小学校を統合対象として検討しているのか、その具体的な見通しを伺う。	教育部長
		(3)　学校施設の老朽化対策や長寿命化計画と、今後の学校再編との整合性をどのように図りながら進めていくのか伺う。	教育部長
		(4)　学校統合によって通学距離が長くなる児童への安全対策、及びスクールバスの運行基準やその費用負担について、どのように考えているのか伺う。	教育部長
		(5)　統合計画の策定に当たり、当事者である保護者や地域住民の意見をどのように吸い上げ、計画に反映していくのか伺う。	教育長
		(6)　学校は地域コミュニティの中心的役割を担っているが、統合後の地域活力の維持に向け、市としてどのような支援策を検討しているのか伺う。	市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民志創会 成川正幸	1 近年の降雨特性を踏まえた本市の排水能力の現状と基本認識について	
		(1) 近年の降雨特性の変化を踏まえ、本市の主要な幹線水路や市街地排水路の排水能力について、市としてどのように認識しているのか見解を伺う。	都市創造部長
		(2) 本市特有の地形条件を踏まえ、冠水リスクの高い地域に対して、市としてどのような短期対策と長期的な整備方針を考えているのか。市民の命と農業基盤を守る観点から見解を伺う。	市長
		2 「一本のレール」がつなぐ、真に愛される公共交通の深化について	
		(1) 富山地方鉄道本線とあいの風とやま鉄道について、北陸新幹線開業以降、経営安定化や基金、設備整備支援など、これまでの本市負担を市民に分かりやすく、開示された情報を基に示す考えはあるか見解を伺う。	都市創造部長
		(2) 定期代の値下げやICカードを活用した地元還元策、さらには「道の駅KOKOくろべ」周辺への新駅など、市民生活に直結する具体策を、市として県や富山地方鉄道株式会社との交渉のテーブルに載せていく考えはあるか伺う。	市長
		(3) 県による社会的便益の精査結果を、本市はどのように受け止め、今後の支援の「指針」とする考えか。 市長は検討会において、赤字の穴埋めという後ろ向きな議論から脱却し、「便益での投資」という考えをベースに検討したいとされている。これを本市としての基準に据えるべきと考えるが、市として具体的な予算措置を伴う取り組みを進めていく考えはあるか。また、全市民が恩恵を受けられるビジョンについて、市長の認識を伺う。	市長
		3 学校再編の基本方針と学校跡地の活用ビジョンについて	
		(1) 学校再編の必要性に直面している今、本市はどのような基本方針とスケジュールで進めていくのか。また、住民の皆様への丁寧な説明と、合意形成に向けた具体的な進め方について見解を伺う。	市長
		(2) 現在の学校跡地活用を成功させ、これからの学校再編に対する「住民の不安をなくす、良い見本」にすべきだと考える。経費を抑える行政改革の視点と、住民の地域への想いをどのように両立させていくのか。本市の具体的な方針と、今後の進め方を伺う。	市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民志創会 成川正幸	**4　誰一人取り残さない優しいデジタル化と窓口改革の推進について**	
		(1)　現在、来庁者データをどのように把握・分析しているのか。また、「待たない窓口」の実現に向け、今後どのようにデータ活用を進めていく考えか伺う。	市民福祉部長
		(2)　本市における自治体情報システム標準化・共通化の進捗状況と、今後の見通しについて伺う。	市　長
		(3)　デジタルによる効率化と、対面による温かい支援をどのように両立していくのか。本市が目指す具体的な窓口の将来像について見解を伺う。	総務管理部長
		(4)　本市においても、これまでの機能にとどまることなく、LINE等を活用して、乳幼児健診の日程変更や保育申請などを24時間スマホで完結できる仕組みを早期に拡充・導入し、子育て世代との接点強化を進める考えはないか、見解を伺う。	市民福祉部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民クラブ 中村裕一	**1　上坂新市長の市政運営方針について**	
		(1)　第三者委員会の設置に向けた具体的なスケジュールと、客観性・透明性を担保するためのメンバー選定の方針について伺う。また、ハラスメントのない「互いにリスペクトし合える職場環境」の定着に向け、どのような意識改革や相談体制の強化を進めていくのか見解を伺う。	市長
		(2)　新市長として「この令和8年度に最も優先して着手し、目に見える成果を出したい」と考えている最重要公約は何か。また、それを具現化するための予算編成や政策決定のスピード感をどのように高めていくのか意気込みを伺う。	市長
		(3)　市長が掲げる「圧倒的『前進』」とは、具体的にどの分野において、これまでの市政とどのような違いやスピード感を持って取り組まれるのか、市長としての基本認識を伺います。併せて、多様化・複雑化する市民ニーズに迅速に応えるためには、行政組織そのものの意識改革や、これまでの個別最適な予算配分から「全体最適」へのシフト、さらには業務のスクラップ・アンド・ビルドが必要不可欠と考えますが、新体制における組織改革の方向性について伺う。	市長
		(4)　北陸新幹線を軸とした交流人口の拡大と観光・経済政策について、「新時代にふさわしい仕掛け」や「産官学連携の新たな具体策」について市長のビジョンを伺う。併せて、観光の活性化を地域の「活力みなぎるまちづくり（第一次産業・商工業の振興）」へどう波及させ、市民所得の向上や地元雇用の創出に繋げていくのか、具体的な戦略を伺う。	市長
		(5)　能登半島地震における避難所運営などの諸課題や教訓を踏まえ、本市の地域防災計画の見直しや、ハード・ソフト両面における具体的な「防災・減災対策の強化」をどのように予算や施策に反映させていくのか伺う。併せて、激甚化する自然災害に対し、公共インフラの老朽化対策（長寿命化）や、デジタル技術を活用した迅速な情報伝達体制の構築について、今後の導入スケジュールを含めて伺う。	市長
		(6)　市長が掲げる魅力的なまちづくりを推進する一方で、財政調整基金の適切な管理や実質公債費比率のコントロールなど、財政の健全性をどのように維持していくのか、その規律と見通しについて伺う。併せて、「市民の皆様と一緒になって進めてまいる」との言葉通り、限られた財源の中で行政主導から「市民協働・民間連携」へと転換していくための具体的な施策や、市民の声を対話によって吸い上げるためのアプローチについて見解を伺う。	市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民クラブ 中村裕一	**1　上坂新市長の市政運営方針について**	
		(7)　医師の働き方改革が本格化する中、救急体制や専門外来の質を落とさずに維持するためには、大学医局との連携強化や、若手医師にとって魅力ある公立病院としての職場環境整備が不可欠です。また、新川地域の他の医療機関や開業医との「病床機能の分化」や「施設間連携」をさらに一歩進める必要があると考えますが、市長の具体的な人材確保策と地域医療連携に対するビジョンを伺う。	市　長
		(8)　市民病院が新川医療圏全体の基幹病院として機能している一方で、病院の経営赤字や施設整備に伴う財政負担の多くは、設置者である黒部市が担わざるを得ないという構造的な課題がある。病院自体の経営効率化・コスト削減への取り組み状況を伺うとともに、広域的な医療恩恵を受けている近隣自治体（入善町・朝日町等）や富山県に対し、負担の適正化や広域連携の強化に向けた新たな財政的・制度的な働きかけを行うお考えがあるか見解を伺う。	市　長
		2　姉妹都市及び国際友好都市との関係性について	
		(1)　根室市との「歴史の継承」と、北方領土返還運動における連携交流について、次世代への平和教育や歴史継承にどう活かし、今後の北方領土返還運動や市民交流をどのように前進させていくのか伺う。	市　長
		(2)　大崎市との間で、単なる行政視察や特産品の販売に留まらず、民間を巻き込んだ「官民一体の定住促進・U/I/Jターン交流」へどう発展させるのか伺う。	市　長
		(3)　長年継続する公務員相互派遣（根室市・韓国三陟市）の成果と、得られた知見の市政への還元について、これまでの派遣成果の評価と、今後の職員交流プログラムのイノベーションについて、市長の見解を伺う。	市　長
		(4)　国内外の交流都市の市民を黒部へ呼び込む誘致の仕掛けや、市民レベルでのおもてなし・草の根交流をどう活発化させていくのか、具体的な戦略について伺う。	市　長
		(5)　本市が結ぶ姉妹都市・友好都市は、国内外含めて多岐にわたりますが、「点」の交流になっていないかという懸念がある。 人口減少や少子高齢化、自然災害の激甚化といった課題は、地方都市であれば本市も大崎市も根室市も、あるいはアジアの都市も共通して直面してます。これまでの親善・友好という枠組みを超え、例えば「農業・水産業の担い手不足対策」「観光地のオーバーツーリズム（観光公害）対策」「デジタル化のノウハウ共有」など、都市間で共通する自治体課題を相互の交流を通じて一緒に解決し合うような、実利をもたらす「課題解決型の全体最適な連携交流」へと舵を切るお考えはあるか、市長のビジョンを伺います。	市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民クラブ 中村裕一	**３　本市における未利用公共施設について** (1)　現在、市が把握している未利用公共施設の総数と管理コストの現状認識を伺う。併せて民間への売却や貸し出し、あるいは迅速な解体へと舵を切り、予算の「全体最適」へと結びつけるための具体的なロードマップと、市長が目指す「圧倒的『前進』」のスピード感について伺う。 (2)　未利用公共施設が所在する地域住民への丁寧な説明や「対話」をどのように進め、職員が当事者意識を持って住民や民間事業者と向き合う環境をどうつくるのか。当事者同士のリスペクトを原動力とした、新時代の公共施設マネジメントに対する見解を伺う。 (3)　黒部市民会館の跡地利用の極めて現実的かつ効果的な打開策として、既存の建物を早期に解体した上で、「温浴施設等」を核とした民間活力を誘致・建設すべきと考える。市として、三日市周辺の飲食店街への経済効果と、富山地方鉄道の利用促進という「経済と交通の相乗効果」を一体的に生み出すまちづくりを、今後どのように現実化させていくのか見解を伺う。	市　長 市　長 市　長

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 （質問方式）	質問事項	答弁者
1	宮﨑孝義 （一括方式）	**1　あいの風とやま鉄道黒部駅西口整備について**	
		(1)　事業化に向けて財源面、パークアンドライド、用地面、維持管理費など、現在どのような課題整理がなされているか、併せて進捗状況をお伺います。	都市創造部長
		(2)　バリアフリー対応、駐車送迎スペース、安全対策などについて、どのような協議が進められているのか伺います。	都市創造部長
		(3)　駅西口整備は黒部市全体の都市計画に影響する課題でもあります。改めて、市は黒部駅西口整備を市全体のまちづくりの中でどのように位置づけているか伺います	市　長
		(4)　市として、どのような経済効果・地域効果を見込んでいるのか伺います。	市　長
		(5)　8号バイパスから黒部駅西口までの道路整備が大事になるとしているが、どのような思いでどの様に取り組んでいかれるのか、伺います。	市　長
		(6)　一定の方向性を市民へ示していく時期に来ているのではないかと考えるが、基本構想策定、事業化判断、整備時期について、どのような見通しを持っているのか伺います。	市　長
		2　宮野運動公園陸上競技場の整備と運営管理	
		(1)　現在のトラック舗装の劣化状況について、市としてどのように把握しているのでしょうか。 ひび割れ、摩耗、雨天時の排水性、安全面などについて、競技団体や利用者からどのような意見が寄せられているのか伺います。	都市創造部長
		(2)　市として宮野陸上競技場の全天候型ウレタン舗装化について、これまでどのような検討を行ってきたのでしょうか。また、整備を行う場合の概算事業費をどの程度試算しているのか伺います。 さらに、スポーツ振興くじ助成、国や県の補助制度など、有利な財源活用についてどのように検討されているのか、伺います。	都市創造部長
		(3)　市民のスポーツ活動の推進、競技力向上、健康づくり、交流人口拡大など、多面的な役割を踏まえ、陸上競技場を含めた宮野運動公園について、どのような施設運営を目指していくのか伺います。	都市創造部長
		3　小中学校の通学路安全対策について	
		(1)　本市では現在、どのような体制で通学路の安全点検を実施しているのか。 また、危険箇所について、どのような基準で把握し、改善につなげているのか伺います。	教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	宮﨑孝義 (一括方式)	**３　小中学校の通学路安全対策について** (2)　小学校・中学校それぞれにおいて、現在把握している危険箇所数と、近年改善された主な事例について伺います。	教育部長
		(3)　本市において、今後予定している通学路安全対策について伺います。	都市創造部長
		(4)　冬期間に積雪があると歩道が狭くなり、児童生徒が車道を歩かざるを得ない状況も見受けられます。 冬期における除雪体制や安全確保について、どのように対応しているのか伺います。	都市創造部長
		(5)　各学校安全パトロール隊や地域ボランティア、PTAなどとどのように連携しているのか。今後、地域見守り活動を維持・強化していくために、どのような支援策を考えているのか伺います。さらに、不審者対策や防犯カメラ設置など、防犯面での取り組みについて伺います。	市民福祉部長
		(6)　デジタル技術を活用した安全対策導入についてどのように考えているのか。また、学校再編や通学区域の変化なども見据え、将来的にどのような視点で通学路安全対策を進めていくのか、市の考えを伺います。	教育長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	長谷川　恵　二 (一括方式)	**1　上坂新市長の公約実現について**	
		(1)　広報くろべや、市長提案理由説明の政策説明の冒頭で語られている「中学校の給食費無償化に向けた具体的な制度設計」に着手するという中身はどういうものか、いつから始めるのか伺う。また、幼稚園保育所の給食費はどうするつもりか伺う。	市　長
		(2)　黒部市民病院の決算見通しはどういう状況か、診療報酬の大幅改定後初の決算となるが、いい報告を聞きたい。また、膵がんドックの出足はどうか伺う。	市　長
		(3)　副市長として、富山地方鉄道のあり方調査事業にかかわってこられた当事者として、今後市民に対してどういう方向を提示していかれるつもりなのか、私は、あいの風とやま鉄道乗り入れの実現に向けて取り組んでほしいと考えるが、市長としての考えを伺う。	市　長
		(4)　あいの風とやま鉄道の黒部駅の利便性向上とは具体的には何を指すのか。東西自由通路設置に向けての現状はどうなのか。それにからめて黒部駅のホームエレベーター設置がなおざりになってはいないか状況を伺う。	市　長
		(5)　同じく生地駅周辺整備についても伺うが、「加速」とはどういう意味か。何度でも繰り返しますが、生地駅周辺活性化にはもちろん賛成しますが、生地駅駅舎移転に多額の税金を投入することには、多くの市民が納得できていないと思います。私は、税金の投入には、断固反対いたします。それによって利益を得ると思われる方々がお金を負担するのが当たり前ではないかと考えるが、市長としての考えを伺う。	市　長
		(6)　「くろべ牧場まきばの風」の経営立て直しについてだが、民間の力で経営改善とある。何か、あてはあるのか伺う。	市　長
		2　平和施策の推進が、今ほど必要な時はない。市民にどう語り掛け、発展させていくのか	
		(1)　去る5月27日2026年国民平和大行進が朝日町をスタートしました。黒部市でも、行進団関係者との交流会が開かれ、実行委員会として新市長のご出席にこころから感謝もうしあげます。また原水禁大会成功への激励については、市長・議長そろっていただけたこともお礼申し上げます。そのうえで、今後の黒部市の平和施策の推進への決意を伺う。	市　長
		(2)　この平和大行進の申し入れの際に、「非核三原則の堅持を求めるための請願」が提出され、今議会に意見書案が提起されています。昭和63年に核兵器廃絶平和都市宣言、平成20年に新黒部市として平和都市宣言をしている自治体として、新たな「国際法遵守による平和構築都市宣言」など提起できないか、考えを伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	長谷川　恵　二 (一括方式)	**２　平和施策の推進が、今ほど必要な時はない。市民にどう語り掛け、発展させていくのか** (3)　第3次黒部市総合振興計画（基本構想）の策定の時期になっているが、第2次総合振興計画には反映されなかった、平和施策の推進の項目をぜひ作っていただけないか、考えを伺う。 (4)　前市長まで代々平和首長会議に加盟されているが、新市長はもちろん加盟を継続されると思いますが確認したい。 また、平和首長会議の総会や今年の原水爆禁止世界大会へは、参加されるのでしょうか。	市　長 市　長
		３　各種市政問題について (1)　重点支援地方交付金が去る、6月５日に1000億円程予算化されたそうだが、これまでの2025年度補正予算では総額2兆円であった重点支援地方交付金に比べだいぶ少ない気もする。この交付金の各自治体への交付時期と金額はわかっているのか。併せてその活用施策で考えていることがあればお聞きしたい。 (2)　この予算規模では、今のイラン危機に伴う危機的状況に対処するにはあまりに小さすぎる。大幅な増額を求めていくべきではないか、考えを伺う。 (3)　議会でこれまでも求めてきた市内中小企業への賃上げ支援だが、賃上げ以外の設備投資がなくとも直接支援できる制度がどうしても必要と思うが、市長の考えを伺う。 (4)　先月5月22日黒部川土砂管理協議会が開かれている。環境調査方法などに大きな変更があったようだが、その内容と理由を説明願いたい。とりわけ、海域底質観測地点の変更について詳しくお聞かせ願いたい。 (5)　前市長のパワハラ問題の第三者委員会の設置等の進捗状況についてお聞きしたい。また、今後のスケジュールを確認させてもらいたい。	総務管理部長 市　長 市　長 市　長 市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	家敷誠貴 (一問一答方式)	1　本市における教育課題、多様な学びの充実について	
		(1)　政府は令和11年度までに教育職員の1箇月時間外在校等時間を平均30時間程度に削減することを目標にしているが、現在の本市教育職員の残業時間について伺う。	教育部長
		(2)　令和11年の達成に向けてどのようなプランを考えているのか、また、月残業時間の削減が子どもたちの学習、経験にどのような影響を与えると考えられるか見解を伺う。	教育長
		(3)　月残業時間を目標どおり達成した場合、教職員の配置人数を変えずに教育の質を落とさないという事はかなり厳しく、教育現場の負担は大きいと考えられる、スクールサポートスタッフの加配等が必要と考えるが見解を伺う。	教育長
		(4)　本市では令和6年4月よりコミュニティスクールをスタートさせたが、現状について伺う。	教育長
		(5)　地域学校協働本部を設置し、学校、家庭、地域の連携を深め、子どもたちの多様な学びを確保する必要があると考えるが見解を伺う。	教育長
		2　持続可能な消防団、水防団について	
		(1)　本市における、消防団員定員の充足状況について伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　消防団員に対する割引や優遇サービスとして、黒部市消防団員応援の店があるが、消防団活動は、消防団員本人の負担に加えて、家族にも大きな負担があると考えられる。家族向けのサービスをさらに充実させてはと考えるが見解を伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　入善町では消防団員だけではなく、家族に対して協力費を支給している。本市でも行うべきであると考えるが見解を伺う。	防災危機管理統括監
		(4)　消防団員報酬の増額を考えるが見解を伺う。	防災危機管理統括監
		(5)　本年5月30日に黒部川総合水防演習が行われたが、消防団員は水防団員としての活動も行っているが、実際に水害が発生した事を想定すると、団員の訓練が不足しているように思う。黒部市が行う訓練に水害を想定したものを取り入れてはと考えるが見解を伺う。	防災危機管理統括監

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	松倉孝暁 (一問一答方式)	1　第４３回カーター記念黒部名水マラソンについて	
		(1)　多くの関係者の努力の賜物であるが日本最大のランナーのためのポータルサイトである『RANNET』での人気度ランキングでは全国第2位、参加者の満足度は非常に高い。また2月で募集枠が埋まったことからも検討の余地があると考えるが交流人口拡大の観点からフルマラソンの部の募集定員をもう少し増やせないか伺う。	教育部長
		(2)　市内の小・中・高校生はどのように大会に携わったのか教育長の感想や総括また今後のマラソン大会に対する展望を伺う。	教育長
		(3)　かつてマラソン開催による経済効果を数値化したとも聞いている。マラソンによる経済効果また先の質問の交流人口の拡大の観点からも本市にとって欠かせないコンテンツに育っていると判断している。市長の感想や総括また今後のマラソン大会に対する展望を伺う。	市長
		2　電力の地産地消について	
		(1)　市役所庁舎やあおーよの電気代について電力会社への価格交渉力を上げるため昨年12月議会で関西電力からも見積りをとるべきと提案したがその後の経過を伺う。	総務管理部長
		(2)　富山県と関西電力が結んだ包括連携協定について本市を流れる黒部川での認可最大出力は909,820KW。原発1基分の発電能力があるともいわれる。協定の内容からはオンサイト型脱炭素事業の展開等、例えば黒部市民病院での活用も可能性としてはある。川下の街である黒部市では本協定からはどのような事業が想定できるか伺う。	市長
		(3)　大正12年に運用開始した弥太蔵発電所から始まった黒部川水系における電源開発の歴史をふるさと教育等に活用することについて 協定には富山県内の学校に対するエネルギーに関する教育支援とあるが関西電力との連携によるふるさと教育に生かせないか伺う。	教育長
		(4)　この協定内容に即して太陽光発電設置によって中学校体育館へ空調設備を導入できないか伺う。また脱炭素電源による自家発電によれば高額化が懸念される建屋の断熱化が不要となる可能性がないか調査研究する必要もある。さまざまな方法を検討していただきたいと思うが考えを伺う。	教育長
		3　新川医療圏と黒部市民病院について	
		(1)　2市2町の首長と新川医療圏の必要性を共有してほしい。また黒部市長にはそのリーダーシップが求められていると考える。改めて新川医療圏の中核病院である黒部市民病院存続に向けての市の支援策と医療圏存続に向けての考えを伺う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	松倉孝暁 (一問一答方式)	**３　新川医療圏と黒部市民病院について** (2)　医師看護師の充足状況を伺う。	病院長
		(3)　富山医療福祉専門学校（滑川市）は来年度以降の募集を停止。一方で黒部市民病院では慢性的に看護師が充足しているとはいえない状況が続いている。看護師充足に向けての県要望の内容は6月４日の全員協議会で確認をしたが県立大学のサテライト分校設置を要望するなどさらに思い切った施策が必要ではないか伺う。	市長
		(4)　黒部市民病院では看護師養成の観点から実習機会の提供など直接的に病院内で育成に携わっているとの認識であるが、これが将来の看護師獲得につながると考えるのでこれらの取組のさらなる拡大のほか、看護を志す者への、さらなる奨学金制度の拡充など必要ではないか所見を伺う。	病院長
		(5)　中東情勢に起因する原油不足からくる影響についてナフサ由来の化学製品の不足など報道等からの情報で懸念をしている。特に発電用のA重油が足りていないとも伺うが、現状懸念されていることがあれば伺う。万一の緊急時には大崎市民病院との連携もアイデアです。現状に加えて今後の見通しなども併せて伺う。	市民病院事務局長
		４　長野県が導入した宿泊税について (1)　長野県では6月より1人1泊、素泊まり、消費税抜きで6000円以上の宿泊施設に宿泊する宿泊者に対し一人一泊200円の宿泊税を導入した。北アルプスには多くの山小屋があるが山小屋に宿泊した登山者から徴収した宿泊税は登山道の維持に活用されるとのことである。同様に立山町でも2027年度4月より同様の検討がなされているが本市にも山小屋があり、登山道の整備や景観の維持等を目的とする宿泊税の導入は適切と考えるが所見を伺う。	産業振興部長
		５　『あおーよ』駐車場について (1)　『あおーよ』3階にはほがらか子育て支援センターがあり、優先的に駐車場を利用できるような工夫が必要ではないかと考える。福祉駐車場はベビーカーを使用するまたはお子さんを抱っこする子育て中の両親は使用することはできないのか伺う。	市民福祉部長
		(2)　旧北陸銀行跡地の広場の利用について 土曜日曜を中心に駐車場の利用が満車状態になることが多々ある。近隣の駐車場のすべてが埋まることが想定される時など常設的ではなくても駐車場として開放できないか伺う。	総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	辻　泰久 (一問一答方式)	**1　広島市で開催の平和記念式典への出席について** (1)　8月6日開催されます令和8年平和記念式典に平和都市宣言をしています黒部市の市長として出席を促します。	市　長
		2　北陸新幹線のダイヤ充実について (1)　黒部宇奈月温泉駅から関西方面へ行くのに時間帯によっては富山駅か金沢駅で乗り換え敦賀駅で乗り換えになります。つるぎ号の富山駅以東への延伸あるいは全便のはくたか号の敦賀駅までの延伸を実現できるようJR西日本に一層の要望を行ってはどうか。	市　長
		3　北方領土問題について (1)　2022年2月24日ロシアがウクライナへ侵攻開始しビザなし交流･墓参などができなくなりました。この様な日ロ関係について市長の所感を求めます。	市　長
		4　火災多発について (1)　改正消防法では、2011年6月までに全住宅に火災警報器の設置が義務付けられている。本市での直近の設置率は何%か伺います。 (2)　更なる設置率向上を目指すとともに高齢者対策をどのように考えているのか伺います。 (3)　マンションや施設など一定の条件の建物に使用義務が定められている火の広がりを抑えられる防災用品を一般の住居にも活用を呼び掛ける試みをしては如何か伺います。	防災危機管理統括監 防災危機管理統括監 防災危機管理統括監
		5　保育士確保について (1)　村椿保育所、若栗保育所での利用状況を伺います。 (2)　本年度の保育士の新規採用は3名であったと伺っています。保育士は足りているのか伺います。 (3)　5月19日保育研究会において上坂市長の挨拶が保育士のやる気を奮い立たせる心の籠った挨拶でとても評判が良かったと聞いています。保育士は重労働、低賃金でなり手不足といわれますが、一層の待遇改善を図る考えはないか市長に伺います。	市民福祉部長 市民福祉部長 市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	辻　泰久 (一問一答方式)	６　空き家問題について (1)　本市の登録空家リフォーム等補助金の利用状況を伺います。 (2)　補助金を増額する考えはないか伺います。	都市創造部長 都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	高野早苗 (一問一答方式)	**1　避難所機能強化と地域防災力向上について**	
		(1)　指定避難所である黒部市ふれあい福祉センターへのスマートロック整備について、実際の避難所運営を踏まえた整備の考え方と今後の方針について伺います。	防災危機管理統括監
		(2)　市立公民館等に残る旧式照明や未LED化設備について、防災機能の向上や利用環境改善の観点から、今後どのように更新を進める考えか伺います。	総務管理部長
		(3)　夜間発災や冬期災害、要配慮者支援、避難所運営などを想定した実践的な防災訓練について、今後どのように取り組む考えか伺います。	防災危機管理統括監
		(4)　避難所ごとの備蓄品や資機材の配置状況を整理し、地域と共有できる形で見える化を進める考えはないか、また、分散備蓄の充実やローリングストックの活用について市の見解を伺います。	防災危機管理統括監
		(5)　高齢化や人口減少が進む中、本市が目指す地域防災力とはどのような姿なのか。また、自治振興会、自主防災組織、消防団、民生委員・児童委員、学校、PTA、地域企業などとの連携をどのように進め、災害に強い地域づくりにつなげていく考えか、市長の所見を伺います。	市　長
		2　「人を支える仕事」への理解を深めるキャリア教育について	
		(1)　看護師、介護職員、保育士など「人を支える仕事」の担い手不足をどのような地域課題として認識しておられるのか。また、将来を見据え、人材育成の視点を教育施策の中に取り入れていく考えはないか、お伺いします。	教育部長
		(2)　ふるさとキャリア教育の中で、看護師、介護職員、保育士など「人を支える仕事」の社会的役割ややりがいについて学ぶ機会をさらに充実させ、子どもたちが地域を支える仕事の価値を実感できる教育を推進する考えはないかお伺いします。	教育部長
		(3)　「社会に学ぶ14歳の挑戦」で得られた学びや気づきを体験した生徒だけのものに終わらせるのではなく、発表や交流などを通じて学校全体で共有し、「人を支える仕事」への理解を深める取組をさらに充実させる考えはないかお伺いします。	教育部長
		(4)　「社会に学ぶ14歳の挑戦」について、受入事業所の意見や評価を十分に検証しながら、病院、福祉施設、保育所など、「人を支える仕事」の魅力ややりがいをより深く学ぶことができる事業へと発展させる考えはないか、お伺いします。	教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	高野早苗 (一問一答方式)	２　人を支える仕事への理解を深めるキャリア教育について (5)　人口減少や担い手不足が進む中、子ども達が「人を支える仕事」を魅力ある進路として自然に受け止め、「将来、地域で誰かの役に立つ仕事に就きたい」と思えるようなキャリア教育を、今後どのような方針で推進していくのか、教育長の所見をお伺いいたします。	教育長
		３　新潟県高校部活動バス事故を踏まえたスクールバスの安全対策について (1)　本市のスクールバスについて、学校ごとの利用児童生徒数、運行距離、運行事業者の現状をどのように把握しているのか。また、今後の学校統合や児童生徒数の推移を踏まえ、スクールバス運行をどのように位置づけているのか、お伺いします。	教育部長
		(2)　運転手の健康確認、点呼、アルコールチェック、勤務管理、車両点検などの日常的な安全管理について、各事業者に対しどのような基準を求めているのか。また、市教育委員会はその実施状況をどのように確認しているのかお伺いします。	教育部長
		(3)　本市特有の積雪、凍結路面や山間部道路への対応について、運転手に対する安全教育や研修、悪天候時の運行判断基準はどのようになっているのかお伺いします。	教育部長
		(4)　市教育委員会は、運行事業者に対しどのような監査や実施確認を行っているのか。また、事故やヒヤリハット事例の共有、ドライブレコーダーの活用、緊急時対応訓練など、安全性向上に向けた取組をどのように実施しているのかお伺いします。	教育部長
		(5)　今回の新潟県の事故を受け、本市としてスクールバス運行体制や安全管理体制の総点検を実施する考えはあるのか。また、今後スクールバスの重要性が高まる中、児童生徒輸送の安全確保についてどのように取り組んでいくのか、教育長の見解をお伺いします。	教育長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	野村康幸 (一括方式)	**1　再生可能エネルギーについて**	
		(1)　富山県と関西電力株式会社の間で、GX推進等に関する包括連携協定が締結された動きをどう評価し、今後電気の地産地消が現実になった際、公共施設管理や環境施策へ取り込む考えはあるか所見を伺う。	市長
		(2)　水力発電の電力を活かした「稼げる農業」および地元産業への支援について、今回の協定により、関電の水力発電が「地元の電源」として活用可能になる中「黒部ブランドの価値をさらに高め、地域経済の土台を強化する」働きかけを、県や関西電力に対して黒部市から積極的に行う考えはないか市長の所見を伺う。	市長
		(3)　公約に掲げる「移動の不安をなくす交通政策」と連動した、地域モビリティ全体の脱炭素化（EVシフト）への先手対応について、今回の協定による水力発電の地産地消を背景に、地域交通の脱炭素化をどのように進めていかれるか所見を伺う。	市長
		(4)　自治体負担「0円」でのEV（電気自動車）充電スポット設置の導入について、公共施設へ積極的に取り入れ、市の持ち出しをゼロに抑えながら迅速に充電インフラ網を整備していく考えについて伺う。併せて、「黒部川の水力発電」をキーワードに「クリーンなまちづくりのブランド化」を同時に推進していく考えについて所見を伺う。	市長
		(5)　「駅を中心とした拠点づくり」と連動した、市内主要駅周辺へのEV充電インフラの戦略的配置について、今後さらに加速する観光客やビジネス客のEVシフトに対応するため、新幹線駅や各周辺駅の整備計画の中にEV充電スポットを設置し、利便性の高い拠点づくりを牽引していくお考えについて伺う。併せて、これまで市役所などの公共施設に設置してあったEV充電スポットについて、再度設置する考えについて伺う。	市民福祉部長
		2　黒部市の義務教育について	
		(1)　いじめの深刻化と、子どものサイレントSOSを客観的に捉える仕組みについて、いじめ「重大事態」の発生リスクをどのように認識されているのか。また、「QUテスト」などの客観的なアンケートなどをどのように導入し、どう生かしているのか。客観的なデータと「SOSの出し方授業」を組み合わせ、専門職を交えた『組織的な予防システム』を日常的に作っていくべきと考えるが所見を伺う。	教育部長
		(2)　部活動の地域展開が子どもたちの精神面に与える影響について、部活動地域展開の進捗と、保護者の負担軽減策について伺う。また、費用の困窮などを理由に活動を断念し、放課後や休日に孤立してしまう児童生徒を出さないために、市教育委員会として未然に防ぐ取り組みマニュアルやセーフティーネットが存在するのか見解を伺う。	教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	野村康幸 (一括方式)	**２　黒部市の義務教育について** (3)　子どもたちが「行きたくなる学校」にするための環境づくりについて、児童生徒の意見を学校運営に反映させる取り組みの現状について伺う。併せて、「教室以外の選択肢（校内通級や別室登校の環境整備）」について、今後の整備計画や拡充策など、校内環境の整備に関する考え方について見解を伺う。	教育長
		(4)　小学生期における放課後の安全な居場所づくりについて、本市の放課後児童クラブの利用現状と、支援員の確保・質の向上のためのバックアップ体制について伺う。また、保育や学童の現場で気づいた小さなサインを、小学校、さらには中学校へと「切れ目なく共有」し、不登校を未然に防ぐための連携体制は確立されているのか見解を伺う。	市民福祉部長
		(5)　今後の富山県立高校の再編・統合の動きを見据えた、中学校における「未来探究」を通じた不登校未然防止について、中学校段階から自分の生き方や地域の未来を主体的に考える「未来探究」の視点を取り入れたキャリア教育が必要ではないかと考えるが所見を伺う。	教育長
		３　観光施策について (1)　黒部宇奈月キャニオンルートの一方の拠点である長野県大町市との経済連携について、双方の地域でお得な特典が得られる「黒部・大町共通デジタルクーポン」の導入検討について所見を伺う。	市長
		(2)　北陸新幹線で隣駅である新潟県糸魚川市との連携について、観光資源の高付加価値化などの観光振興を糸魚川市と緊密に連携し「電源・大地」を掛け合わせた、世界に通用する広域旅行商品を共同で開発・プロモーションし、近県連携による「攻めの観光振興」が必要ではないかと考えるが所見を伺う。	市長
		(3)　移動の利便性向上とデジタル活用について、本市が主導権を握り、大町市・糸魚川市や交通事業者を巻き込んだ「広域MaaS」、すなわちスマホ一つで全行程の予約や決済ができる仕組みの構築について所見を伺う。	市長
		(4)　「活力みなぎる『まちづくり』」の中に掲げられている「持続可能な財政基盤の強化」、すなわち自主財源の確保について、黒部市と大町市の双方へ、一定額以上のふるさと納税を行った寄付者」に対し、キャニオンルートの優先予約権と、両市の特産品や温泉宿泊券をパッケージにした『合同プレミアム返礼品』を共同開発することで、近隣県との連携強化と共に、本市の「財政基盤の強化」につながると考えるが所見を伺う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	野村康幸 (一括方式)	３　観光施策について (5)　「安心して暮らせる『まちづくり』」の要に据えられている「防災・減災施設の整備推進」について、観光客の避難や誘導、代わりの輸送ルートの確保、および情報発信について、黒部市・大町市・糸魚川市の3市間で「(仮称)山岳観光ルート災害相互応援協定」を締結すべきと考えるが所見を伺う。併せて、リアルタイムで多言語発信ができる防災システムの共同整備を推進すべきであると考えるが所見を伺う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	古川和幸 (一括方式)	1　富山地方鉄道本線の存続と今後の対応（黒部市）について	
		(1)　本市と事業者が、対等なパートナーとして「ともに沿線まちづくりを進めるための信頼関係」を構築していくために、市長は今後の事業者との対話にどのような基本姿勢で臨まれるのか、お考えを伺います。	市長
		(2)　この限られた時間の中で、本市として県や他市町村とどのように連携して、スピード感を持って協議に臨んでいかれるのか。また、地域全体の「全体最適」となる結論を導き出すために、市長が協議の場でどのような役割を果たしていかれるのか、具体的なお考えと決意を伺います。	市長
		(3)　教育環境を守る社会インフラとしての地鉄線の重要性と子どもたちの学校選択の自由を確保する観点から地鉄線の重要性について、教育長のご認識と見解を伺います。	教育長
		(4)　北陸新幹線やあいの風とやま鉄道への過去の公的投資の重要性・正当性をいま一度整理しつつ、市長が言及された便益への投資という考え方を、今後どのように分かりやすく市民へ周知していくのか。そして、鉄道の持つ多面的価値への理解を深め、公平な議論を市民の間に広げていかれるのか、市長の方針を伺います。	市長
		2　公共施設（スポーツ施設含む）利用料の見直しについて	
		(1)　近年の物価高騰や公共施設等の維持管理コストの上昇を踏まえ、スポーツ施設をはじめとする本市の公共施設利用料金の見直しについて、今後どのように検討を進めていかれるのか、当局の明確なご見解をお聞きいたします。	総務管理部長
		3　黒部市内の保育所の在り方について	
		(1)　将来における保育所の副食費の保護者負担について、今後どのように取り組んでいかれるお考えか、市長の具体的な見解をお聞かせください。	市長
		(2)　現在、複数箇所で行われている土曜日の預かり保育について、市内一箇所に集約して、保育を行うことに対する当局の考えを伺います。	市民福祉部長
		(3)　現在の保育所申請等における電子申請をはじめとしたDX化、およびそれによる業務の効率化について、当局の現状の認識と今後の取り組みについてのお考えを伺います。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	古川和幸 (一括方式)	３　黒部市内の保育所の在り方について (4)　休所となりました下立保育所の今後の施設・跡地利用について、市当局は現在どのような活用策や方向性を考えておられるのか、見解を伺います。	市民福祉部長
		４　アルムナイ採用（カムバック制度）の導入について (1)　本市における優秀な元職員の即戦力登用、およびキャリアの多様性を認める組織づくりに向け、この「アルムナイ採用（カムバック制度）」を導入すべきと考えますが、当局の認識、並びに今後の導入可能性について、市長のご見解をお聞かせください。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	橋　詰　真知子 (一問一答方式)	1　市町村に委ねられた児童手当の柔軟な運用と周知について	
		(1)　本市において児童手当の受給者を決定する際の判断基準について伺います。	市民福祉部長
		(2)　ギャンブル依存症等による受給者変更について伺います。 児童手当の受給者となっている者のギャンブル依存症や使い込み等を理由に、配偶者が受給者変更を行う場合、本市ではどのような要件を設けているか伺います。	市民福祉部長
		(3)　国からの「児童手当法第4条の養育要件について」の通知の趣旨を踏まえ、受給者変更への柔軟な対応と合わせて、ホームページなどに「児童手当についてギャンブル依存や使い込み等で悩んでいる場合はご相談ください。」という文章を追加するなど、広く市民に周知していくべきと考えますが、市のお考えを伺います。	市民福祉部長
		2　黒部市小学校連合体育大会について	
		(1)　黒部市小学校連合体育大会の目的と歴史、開催場所について確認させてください。	教育長
		(2)　会場変更に至った具体的な経緯と、開催場所の選定理由をお聞かせください。	教育長
		(3)　中央小学校グラウンドで開催したことによる課題や工夫・よかった点などをお聞かせください。	教育長
		(4)　今回はプログラムを短縮して実施されたとのことですが、子どもたちの体力面や集中力、熱中症対策、また運営の観点から、どのような成果があったと分析されているか伺います。	教育長
		(5)　今後の黒部市小学校連合体育大会の会場について、どのように考えているのか伺います。 今後、中央小学校グラウンドでの開催を継続していく方針なのか、それとも宮野運動公園陸上競技場も含めて開催場所を検討していくのか、現時点の見解をお聞かせください。	教育長
		(6)　今後、中央小学校のグラウンドにて開催していくということであれば、周辺環境の整備も必要になってくると考えます。具体的には、グラウンド周辺の樹木の剪定や、大会時に多くの児童が利用することになる「プール横トイレ」の改修などが必要と考えますが、市のお考えを伺います。	教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	橋　詰　真知子 (一問一答方式)	**３　トイレトラックについて**	
		(1)　黒部市がトイレトラックを導入するにあたり、多様な種類の中からこのトイレトラックを選んだ選定理由について、どのような観点で選び、何を重視したのか、具体的にお聞かせください。	防災危機管理統括監
		(2)　黒部市小学校連合体育大会、黒部シアターにおいて、トイレトラックを実際に使用した結果について、ドアや鍵のトラブルなど具体的に伺います。	防災危機管理統括監
		(3)　市民も、市職員も、トイレトラックを実際に使用し、使い方を知る機会を作るべきと考えますが、見解を伺います。	防災危機管理統括監
		(4)　トイレトラック使用後の汲み取り費用、清掃にかかる費用について、伺います。	防災危機管理統括監
		(5)　トイレトラックをイベント等へ貸し出した場合、貸出費用は発生するのか伺います。 また、汲み取り費用や清掃にかかる費用について、どこが費用を負担するのか伺います。	防災危機管理統括監
		(6)　地区の訓練や地域のイベント等への貸し出しについて周知しているのか伺います。	防災危機管理統括監
		(7)　黒部市小学校連合体育大会および黒部シアターでの使用時の給水について具体的に伺います。	防災危機管理統括監
		(8)　災害時に「断水」となった場合、トイレトラックの給水や運用について想定を伺います。	防災危機管理統括監
		(9)　トイレトラックの保管場所、管理・メンテナンスは誰がいつするのか、管理体制について伺います。	防災危機管理統括監
		４　災害用備品・災害用備蓄品について	
		(1)　災害用備品・災害用備蓄品について、リストの更新作業、現物の確認作業などは、それぞれどのような方法・頻度で行われているのか伺います。	防災危機管理統括監
		(2)　災害用備蓄品における賞味期限や消費期限について、期限切れによる廃棄を防ぐために具体的にどのように取り組まれているのか伺います。	防災危機管理統括監
		(3)　例えば、防災士などの資格を有する方々や、各地区の自主防災組織など、市と市民との協働による確認・管理体制を築くことで、災害時にスムーズに災害用備蓄品を利用できるものと考えますが、市のお考えを伺います。	市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	大辻菊美 (一括方式)	1　地域ぐるみで子どもを守る「こども110番の家」の取り組み強化について	
		(1)　本市における「こども110番の家」の設置状況について、市内全体の設置件数、各地区の状況、また近年の推移についてどのように把握しているのか伺う。	市民福祉部長
		(2)　「こども110番の家」の活動について、本市としてどのような役割を担っているのか、学校、PTA、自治振興会、警察などとの連携体制やその取り組み状況について伺う。	市民福祉部長
		(3)　近年、地域の高齢化や商店数の減少などにより、登録件数の維持が難しくなっている地域もあると考えるが、本市として、登録件数減少や担い手不足などの課題をどのように認識しているのか、また今後の対策について伺う。	市民福祉部長
		(4)　荻生地区では、子どもたちが危険を感じた時などに、すぐに「こども110番の家」を見つけれるよう「のぼり旗」を設置している。子どもたちが一目で分かりやすく、安心感を持てる工夫は大変重要であると考える。本市として、この取り組みをどのように評価しているのか伺う。	市民福祉部長
		(5)　「のぼり旗」の設置や更新、啓発物品の整備には一定の費用負担が発生する。地域によっては財政的負担から取り組み拡充が難しいケースもあると考えるが、本市として「のぼり旗」設置や防犯啓発に対する補助制度創設について検討する考えがないか伺う。	市　長
		(6)　「こども110番の家」は地域住民の善意によって支えられている。今後さらに制度を充実させるためには、子ども自身への周知も重要であると考える。学校教育や防犯教室などを通じて、実際に「どこにあるのか」「どのように利用するのか」を子どもたちへ周知する取り組みをさらに強化すべきと考えるが本市の見解を伺う。	市　長
		(7)　今後、本市として地域ぐるみで子どもを守る安全対策をどのように進めていくのか、市長の考えを伺う。また「こども110番の家」を単なる設置制度として終わらせるのではなく、地域コミュニティのつながりを深める防犯活動として発展させていくべきと考えるが市長の所見を聞く。	市　長
		2　若い世代の健康を守るHPV感染症予防について	
		(1)　本市は、男性へのHPVワクチン接種について、どのような認識を持っているのか伺う。	市民福祉部長
		(2)　男性や保護者からの相談、問い合わせ、接種に関するニーズ等について、現状をどのように把握しているのか伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	大辻菊美 (一括方式)	**２　若い世代の健康を守るHPV感染症予防について** (3)　男性へのHPVワクチン接種に関する情報提供や周知啓発について、今後どのように取り組んでいくのか伺う。特に、若い世代や保護者世代に対し、正しい知識や情報をどのように届けていく考えなのか伺う。 (4)　現在、男性のHPVワクチン接種は任意接種であり、費用負担が大きな課題となっている。本市として、今後、国の動向や他自治体の事例も踏まえながら、接種費助成について検討する考えがあるのか伺う。また国に対して定期接種化や制度拡充を求めていく考えがあるのか併せて伺う。	市民福祉部長 市民福祉部長
		３　子育て世帯への経済的支援の充実について (1)　県内自治体における保育料無償化や子育て支援策の状況について、本市としてどのように認識・分析されているのか聞く。 (2)　氷見市や魚津市で実施されている1歳児以上の保育料無償化や多子世帯への更なる負担軽減について、本市として導入・拡充を検討する考えはあるのか伺う。 (3)　在宅育児家庭への支援や、おむつ購入費助成など、子育てへの直接的な経済支援について、今後どのような施策を検討していくのか伺う。 (4)　「子育てするのなら黒部市」と市内外に発信していくため、今後どのような子育て支援施策の充実を目指していくのか考えを伺う。	市　長 市　長 市　長 市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	中野得雄 (一問一答方式)	**1　市内小中学校関連について**	
		(1)　生徒の身体的負担と事故防止の観点により、中学生の通学カバンの軽量化の取り組みをどの様に考えているのか伺います。	教育部長
		(2)　いわゆる、置き勉の考えについて文科省の通知や小中学校でどのようなルール運用がなされているのか。また、市教委としての考えを併せて伺う。	教育長
		(3)　今般の「道路交通法改正」による、小中学生の自転車による交通事故防止と安全意識向上に向けた安全教育をどの様に実施しているのか伺う。	教育部長
		(4)　自転車の「道路交通法改正」に伴い、本市独自の正しい自転車のルールを定め、自身の身を守る教育と、他人に迷惑をかけない運転教育をこの際しかっりとすべきと考え、当市独自の「自転車運転免許証」を交付し、交通安全教育を充実すべきと考えるが見解を伺う。	教育長
		(5)　市内中学校での校則は社会変化によって見直しているのか伺う。	教育長
		(6)　市教育委員会は携帯電話持ち込み課題についてどの様な協議を行っているのか伺う。	教育長
		(7)　教育委員会は児童・生徒の安全確保とDXの活用の両立についてどのように考えているのか伺う。	教育長
		2　ライドシェア等の地域交通についての市の考え	
		(1)　ライドシェア・コミニュティーバス・路線バス・デマンドタクシーの色分けについての思いを伺う。	市長
		(2)　ライドシェア事業を実施する場合、民間事業者・行政が想定されるが、既存運送事業者や既存交通システムを壊すことが無いのか伺う。	市長
		(3)　ライドシェア導入となった場合、当市の人口規模や利用需要をみたときドライバーの確保・稼働率・採算性についてどの様に分析していくのか伺う。	市長
		(4)　他自治体でも、ライドシェア導入後に利用者不足や運転手不足などが課題となっているが、赤字補填となった場合、当市として認識について伺う。	市長
		3　宇奈月温泉スキー場について	
		(1)　宇奈月温泉スキー場経営に係る直近5年間の維持管理費と収益合計と、来場者一人当たりの経費について伺う。	産業振興部長
		(2)　宇奈月温泉スキー場の廃止・存続を含めた協議実施回数と協議に於いての意見・内容について伺う。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	中野得雄 (一問一答方式)	３　宇奈月温泉スキー場について	
		(3)　グリーンシーズンの利活用についてはどの様に進んでおり、内容についても伺う。	産業振興部長
		(4)　黒部宇奈月キャニオンルート開通事業と宇奈月温泉スキー場の事業への投資はどのように計画していくのか伺う。	産業振興部長
		(5)　数年間にわたり結論の先送りを行ってきたスキー場経営だが、最終的に市長として宇奈月温泉スキー場運営継続もしくは廃止についての考えを伺う。	市　長

〇一括方式とは
　議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

〇一問一答方式とは
　議員が質問項目一問ごと（小項目）に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式